

YCU 長期留学プログラム 派遣学生報告書

氏 名	MN	学部・学科	国際教養
学 年	3	派遣国	フランス
派遣大学	リヨン第三大学		
期 間	2024 年 8 月 1 日～ 2025 年 7 月 21 日		

【生活編】

1. 滞在先

滞在形態	学内の学生寮 / 学外の学生寮 / アパート / その他 ()					
部屋	個室 / 2人部屋 / 3人部屋 / その他 ()					
設備	*共同=◎ 部屋にあるもの=○					
	トイレ	○	シャワー	○	洗面所	○
	キッチン	◎	冷暖房	○暖房のみ	冷蔵庫	○
滞在費	約 (5 万) 円 *1ヶ月あたりの寮費や家賃					
移動	(徒歩) で、約 (10) 分 *大学までの所要時間と移動方法					

転居した場合は、上記表をコピーして滞在先2の内容を追加してください。

2. 日常生活

(1) 1ヶ月の生活費

項 目	金 額	内 訳
食費	30000 円	
学用品購入費	1000 円	文房具等
交通費	3000 円	メトロの回数券
交際費	10000 円	外食、交通費等
その他	5000 円	雑費
合計	50000 円	*概算で記録してください。

(2) 治安状況・危険地域など

治安は比較的良好です。

フランスは特に観光地でのスリ多いと言われていて、リヨンでは特に旧市街やベルクールの辺りが観光客の多い場所となっています。荷物から目を離さないようにするなど気を付ける必要があります。

3. 海外旅行損害保険について

保険の名称	学研災付帯海学 / その他 ()		
加入期間	(11) ヶ月間	保険料	(114380) 円

現地の国／大学指定の保険に加入した場合は、下記も記入してください。

保険の名称	住宅保険		
加入期間	(10) ヶ月間	保険料	(2000) 円 / 月

4. 滞在都市についての情報

滞在都市／町 (リヨン) ローヌ川とソーヌ川という二つの川の合流地点があり、古くからヨーロッパでも有数の交易の中心地として栄えた都市です。ガロ・ロマンの遺跡やノートルダム大聖堂、ベルクール広場など、ローマ帝国の統治していた時代から現在までの都市や建築の歴史の痕跡が随所に残されており、「リヨン歴史地区」として世界遺産に登録されています。また、リyonは美食の町としても知られていて、ポール・ボキューズのレストランやリヨンの伝統料理を提供するブションなどがあります。ブションは手頃な価格でボリュームのある料理を提供しているので私も滞在中に何回か行きました。あまり聞き馴染みのない料理が多かったですが、どれもおいしかったです。他にも絹織物や映画なども有名で、それぞれ博物館があるため、実物を見ながら詳しく学ぶことができました。生活の場としては、都会的で便利な町ながら自然もあり、とても住みやすいと感じました。TGV の駅もあり、パリやマルセイユなど国内の他の都市にもアクセスしやすく、旅行にも行きやすかったです。このようにリyonはさまざまな魅力があり、留学先としてとてもいい都市だと思います。
--

【学業編】

1. 大学情報

大学	リヨン第三大学	所在地	6 rue Pr. Rollet - Lyon 8e
最寄空港	サンテグジュペリ空港	空港からの距離	25km
空港⇄大学	(空港→バス(1E)→Grange Blanche→メトロ(D)→Sans Souci→大学) *移動手段		
学生数	27600	留学生数	4700
学部	法学部 哲学部 人文学部 言語学部 経営学部 IUT (Institut Universitaire de Technologie) *留学先大学の保有する学部をすべて記載してください。		
学部/専攻	人文学部 *留学中に所属した学部/専攻を記載してください。		

2. 週間スケジュール

① (9)月～(12)月

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	ICF			Littérature Japonaise	
午後	FLE	Approfondissement Langue et Société		Thème Version	

② (1)月～(4)月

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	ICF	Approfondissement Langue et Société	Histoire Littéraire		
午後		FLE		Version	

3. 履修内容

科目	FLE		
履修期間	秋、春学期	単位数	3
授業内容／形態	留学生対象のフランス語の授業で、文法や文章の読解を中心に勉強します。一人一回、フランス語でスピーチもおこないました。テストの成績によって 20 人ずつくらいのクラスに分けられます。		
成績	秋学期 13.9/20 春学期 11.3/20		
YCU 振替予定	科目	/	
	単位数		
	担当教員		

科目	ICF		
履修期間	秋、春学期	単位数	5
授業内容／形態	留学生向けに開講しているフランスの文化について幅広く学ぶ授業です。各回テーマが異なり、政治、環境、芸術などさまざまな観点からフランスについて知ることができます。講堂で 100 人くらいで集まって受講する形です。		
	秋学期 16.5/20 春学期 14.8/20		
YCU 振替予定	科目	海外留学科目	
	単位数		
	担当教員		

科目	Approfondissement Langue et Société -Japonais		
履修期間	秋、春学期	単位数	5
授業内容／形態	日本のアニメ文化について学ぶ授業です。日本のアニメがどのように発展してきたかや、欧米のアニメーションと比較してどのような特徴があるのかについて勉強しました。学生数は 2、30 人程度で、先生がスライドを使って説明してくれます。		
成績	秋学期 5.5/20 春学期 5.0/20		
YCU 振替予定	科目	/	
	単位数		
	担当教員		

科目	Littérature Japonaise		
履修期間	秋学期	単位数	2.5
授業内容／形態	日本文学の授業で、主要な日本の古典文学作品について学びます。学生数は 2、30 人程度で、基本的に先生の口頭による説明のみで授業が進みます。		
成績	10/20		
YCU 振替予定	科目	海外留学科目	
	単位数		
	担当教員		

科目	Thème		
履修期間	春学期	単位数	1.5
授業内容／形態	フランス語から日本語への翻訳の練習をします。レベル別に授業が設けられていて、自分に合ったレベルを選択することができます。私は semestre3 を選択しました。少人数での授業なのでわからない箇所を教授にすぐに質問できます。		
成績	19/20		
YCU 振替予定	科目	/	
	単位数		
	担当教員		

科目	Version		
履修期間	秋、春学期	単位数	1.5
授業内容／形態	Thème と逆で日本語からフランス語への翻訳の練習をする授業です。レベル別、少人数の授業なので自分に合ったペースで学習を進められると思います。自分が semestre3、4 の授業ではさまざまな内容の短めの文章の翻訳をしていました。		
成績	秋学期 15/20 春学期 14/20		
YCU 振替予定	科目	/	
	単位数		
	担当教員		

科目	Histoire Littéraire		
履修期間	春学期	単位数	5
授業内容／形態	17 世紀から 19 世紀のフランス文学についての授業です。バロック期の演劇、詩、小説をさまざまな資料を用いながら読み解いていきます。学生数は 50 人程度で、先生がスライドを用いながら説明してくれました。		
成績	欠席		
YCU 振替予定	科目	/	
	単位数		
	担当教員		

科目			
履修期間		単位数	
授業内容／形態			
成績			
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

<総括>

(1) 全体的な感想

*留学生生活全体を通しての気づきや学びをまとめてください。(800 字以上)

今回の留学を通して得られた成果は大きく分けて三つあります。

一つ目はフランス語が上達したことです。今まで習ってきたフランス語の例文を実際に使って会話したり、メールの文面を作成したりと実生活に役立てることができて、勉強の成果が実ったことが嬉しかったです。また、授業も日常生活もすべてフランス語という環境で、日本にいる時よりもフランス語を使う機会が格段に多く、リスニング能力・スピーキング能力・語彙力が鍛えられました。

二つ目は自分の意見を自信をもって伝えられるようになったことです。はじめは私は自分のフランス語が相手に伝わるのか不安で、自分から発言するのを躊躇っていました。しかし、他の留学生が臆せず堂々と自分の意見を発表している姿や、私の話を真剣に聞いてくれる姿を見て、少しずつ自信をもって話せるようになりました。また、いろいろなバックグラウンドを持つ学生たちが集まる中で意見交換をし、多様な意見や価値観があることを実感したことで、自分の意見が間違っていないかどうかを気にすることがなくなり、自分の意見を真っ直ぐに伝えられるようになりました。

三つ目は日本文化の良さに改めて気付くことができたことです。フランスでは日本の芸術や食、ポップカルチャーなどがブームになっていて、例えば、美術館のショップに浮世絵のグッズが並んでいたり、寿司やラーメンのレストランがあったりなど、街のいたるところで日本のものを目にしました。友達との会話でも日本のアニメの話題になったりと、フランスで日本文化が受け入れられているのを目の当たりにして日本人として誇りに思いました。ただ、フランス人の友達から日本について質問された際に答えられなかったことも多く、自分自身日本についてもっと関心を持ち、知ろうとしなければならぬと感じました。

フランス語の上達は今回の留学の大きな目的の一つだったので、自分で実感できるくらいに成果が得られたのはとても嬉しいです。また、上記に挙げたような日本の良さの再発見など、留学に行ったからこそこの気づきもたくさんあり、今回の留学は自分にとってとても実りの多いものになったと感じます。

(2) 今後の展望 *この経験を今後どのように活かしていきたいかをまとめてください。(400 字以上)

今回の留学の成果や反省点を振り返ってみて今後自分に必要なことは、フランス語力のさらなる向上、専門分野を極めること、計画性と継続力を身につけることだと思います。まず、フランス語力を維持しさらに伸ばしていくために、DELTA の受験を目標に据えてフランス語の勉強を続けていきたいと思います。特にリスニングやスピーキングは日常的に取り組まなければすぐに力が落ちてしまうと思うので、毎日時間をとって練習するようにしたいと思います。次に専門分野の深化については、リヨン第三大学での授業で学んだことを、自分が所属しているフランス文化ゼミでの活動や卒論研究につなげていきたいと思います。計画性と継続力の点に関しては、渡航前の手続きで下調べが足りなかったりスケジュール管理が甘かったり、テスト勉強の際にモチベーションが保てなかったりと、自分にとって大きな課題であると今回の留学を通して気づきました。これから就活や卒論など特に忙しい時期に入っていくと思うので、具体的な目標・計画を立てる、予定の確認を習慣化するなどの対策を講じて、より一層気をつけていきたいと思います。

(3) 後輩へのアドバイス *留学を希望する学生にむけてのアドバイスをお願いします。(400 字以上)

私は留学に行く前は不安な気持ちが大きかったですが、今は留学に行ってもよかったと思っています。もちろん、留学中は上手く自分の言いたいことを伝えられなかったり、日本とのギャップに驚かされたりと、辛かったり悩んだりすることもありましたが、それを乗り越えたことで大きく成長できたと思います。今留学に対して不安を抱いている人もとりあえずチャレンジしてみることで何か得られるものがきっとあると思うので、やってみたい気持ちがあったら前向きに考えてみるといいと思います。何か困ったことがあったら周りに相談するのも大事だと思います。私も友達や家族や先生など多くの人に支えられて留学を無事終えることができました。

あとアドバイスできることがあったら、留学中は現地でしかできないことをいろいろやってみてほしいと思います。旅行をしたり、その場所の美味しいものを食べたり、いろいろな人と話してみたり、その国を思い切り満喫して思い出を作るのも留学の醍醐味だと思います。